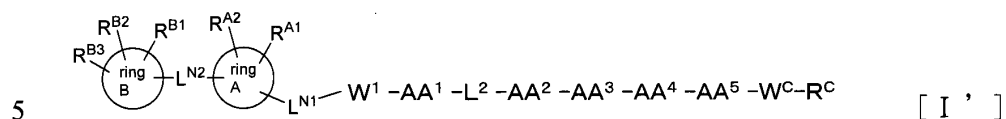


[書類名] 請求の範囲

[請求項 1]

下記式 [I']



(上記式 [I'] 中、

AA¹ は、

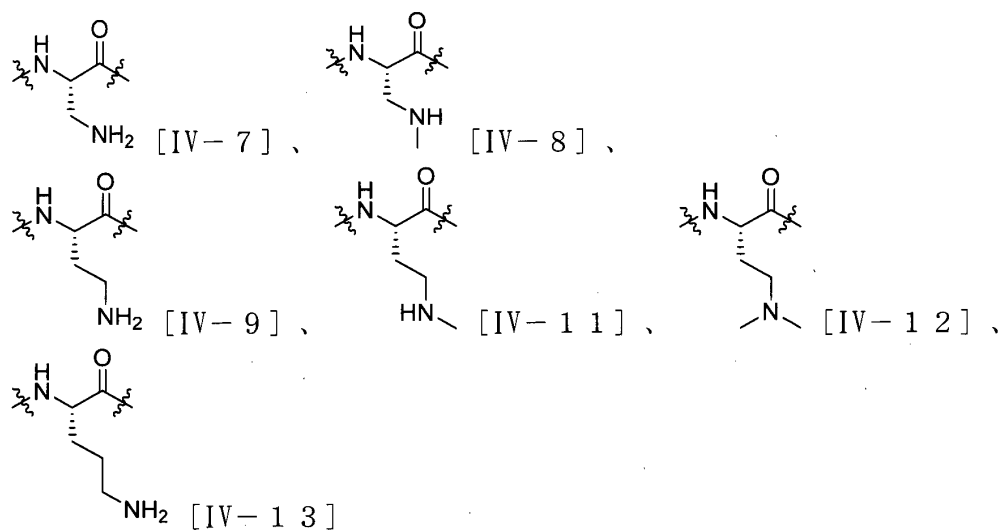
Asp、

10 β-Asp、β-(d)-Asp、γ-Glu、又はγ-(d)-Glu
を示し、

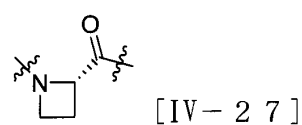
AA² は、

Ala、

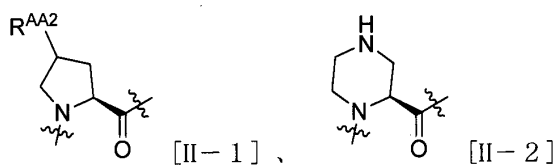
15 下記式 [IV-7]、[IV-8]、[IV-9]、[IV-11]、[IV-12]
[IV-13]



20 で表される基、
下記式 [IV-27]



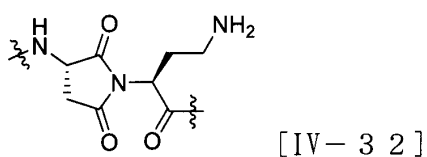
25 で表される基、
Pro、下記式 [II-1] 及び [II-2]



で表される基からなる群から選択される一個の基を示し、
ここで、 R^{AA2} は、ヒドロキシ又はアミノを示し、

5

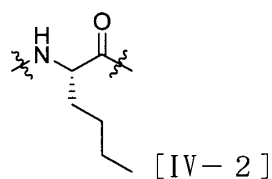
また、 AA^1 及び AA^2 は一緒になって、下記式 [IV-32]



10 で表される構造を取ってもよく、

AA^3 は、

Val、Leu、Ile、下記式 [IV-2]

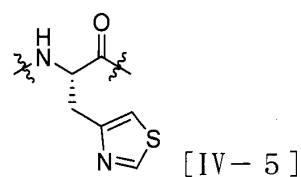
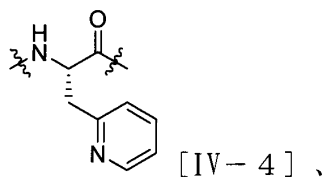
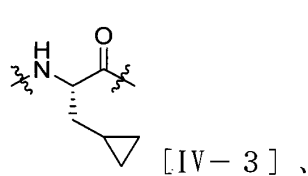


15

で表される基、

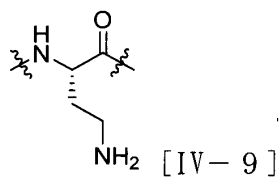
Phe、Trp、

Tyr、Lys、下記式 [IV-3]、[IV-4]、[IV-5]



20

で表される基、及び
下記式 [IV-9]



で表される基からなる群から選択される一つの基を示し、

AA⁴ は、

5 単結合、

Gly、(d)-Ala、(N-Me)Ala、(N-Me)Val、(N-Me)Leu、(N-Me)Ile、

Pro、(d)-Pro、

(N-Me)Phe、(d)-Phe、

10 (N-Me)Tyr、(d)-Tyr、

(N-Me)Ser、(d)-Ser、homoSer、(d)-Thr、

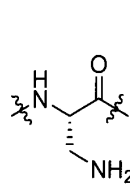
Met、(N-Me)Met、

(N-Me)Asp、Glu、(N-Me)Glu、(d)-(N-Me)Glu、homoGlu、

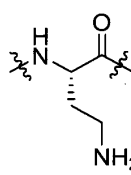
15 (N-Me)Asn、

(N-Me)Arg、(d)-Arg、

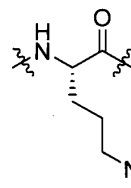
下記式 [IV-7]、[IV-9]、[IV-13]



[IV-7]、



[IV-9]、



[IV-13]

20 で表される基、

Lys、及び(N-Me)Lysからなる群から選択される一つの基

を示し、

ここで、AA⁴ がLysを表す場合、

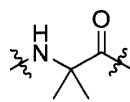
25 該Lysの側鎖のアミノは末端がカルボキシで置換されているC₂₋₁₆アルキルカルボニルで置換されてもよく、

AA⁵ は、

単結合、

Ala、下記式 [IV-1]

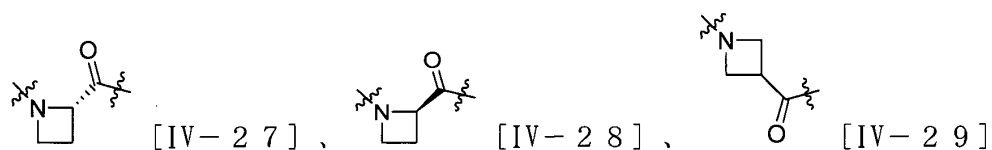
30



[IV-1]

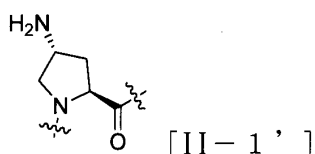
で表される基、

下記式 [IV-27]、[IV-28]、[IV-29]



で表される基、

Pro、(d)-Pro、 β -homoPro、homoPro、下記式 [I-1']



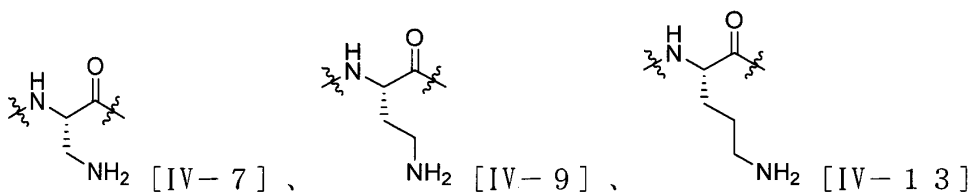
で表される基、

Phe、His、

Thr、

Arg、(d)-Arg、

下記式 [IV-7]、[IV-9]、[IV-13]

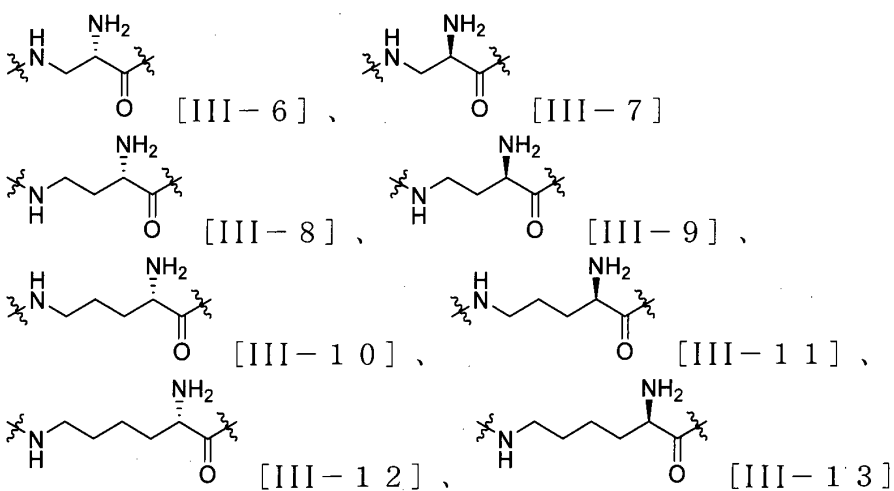


で表される基、

Lys、(d)-Lys、

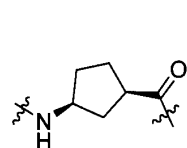
β -Ala、(N-Me)- β -Ala、GABA、Ape、Acp、

下記式 [III-6] ~ [III-13]

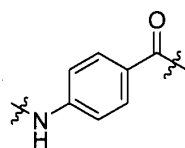


で表される基、

下記式 [IV-25] 及び [IV-26]



[IV-25]、



[IV-26]

- 5 で表される基からなる群から選択される一個の基
を示し、

W^1 は、 $-L^1-$ 又は $-L^{1'}-L^{1''}-$ を示し、

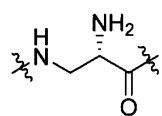
L^1 は、単結合を示し、

- 10 $L^{1'}$ は、

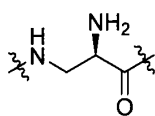
単結合、

β -Ala、GABA、(N-Me)GABA、Ape、Acp、

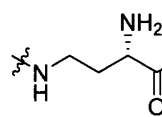
下記式 [III-6] ~ [III-13]



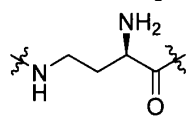
[III-6]、



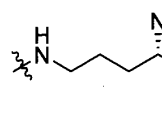
[III-7]、



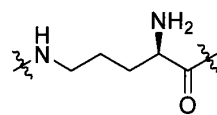
[III-8]、



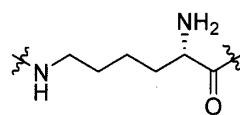
[III-9]、



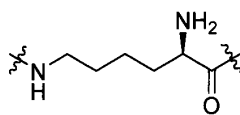
[III-10]、



[III-11]、



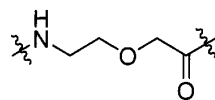
[III-12]、



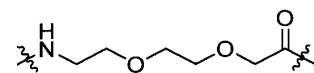
[III-13]

- 15 で表される基、

- 20 下記式 [IV-23] 及び [IV-24]



[IV-23]、



[IV-24]

で表される基からなる群から選択される一個の基
を示し、

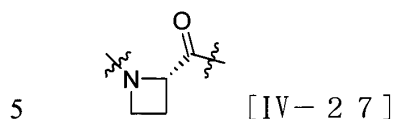
- 25

$L^{1''}$ は、

単結合、

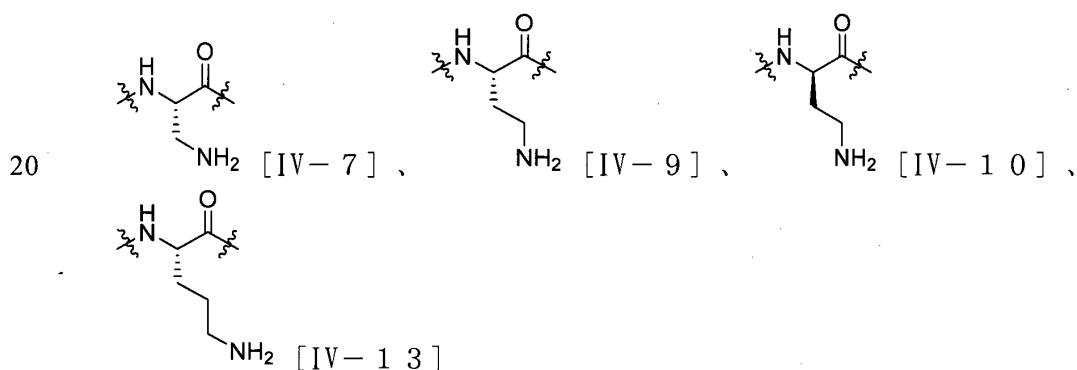
Gly、(N-Me)Gly、

Ala、(N-Me)Ala、(d)-Ala、Val、(N-Me)Val、
 (N-Me)Leu、(N-Me)Ile、
 下記式 [IV-27]



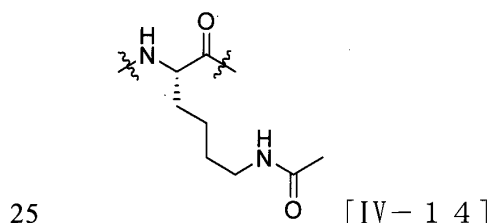
で表される基、

Pro、(d)-Pro、homopro、Phe、(N-Me)Phe、(d)-Phe、
 His、(d)-His、Trp、(N-Me)Trp、(d)-Trp、
 10 Tyr、(N-Me)Tyr、(d)-Tyr、
 (d)-Ser、homoser、Thr、(N-Me)Thr、(d)-Thr、
 Cys、(d)-Cys、Met、(N-Me)Met、
 (N-Me)Asp、Glu、(N-Me)Glu、(d)-Glu、
 15 Asn、(N-Me)Asn、(d)-Asn、Gln、(N-Me)Gln、
 (d)-Gln、
 Arg、(N-Me)Arg、(d)-Arg、Cit、(d)-Cit、
 下記式 [IV-7]、[IV-9]、[IV-10]、[IV-13]



で表される基、

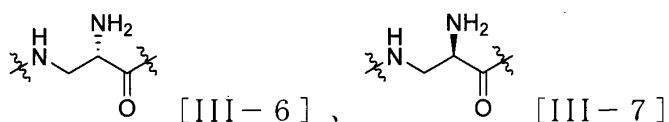
Lys、(N-Me)Lys、(d)-Lys、下記式 [IV-14]



で表される基、

β -Ala、

β -A s p、 β -(d)-A s p、
下記式 [III-6] 及び [III-7]



5 で表される基からなる群から選択される一つの基
を示し、

ここで、 L^1 が L y s 又は (d)-L y s を表す場合、

該 L y s 及び (d)-L y s の側鎖のアミノは下記式 [VII-1] で表される基
で置換されてもよく、



前記式 [VII-1] 中、

$F A^N$ は、末端がカルボキシで置換されている C_{2-16} アルキルカルボニルを

15 示し、

$A A^{N5}$ は、

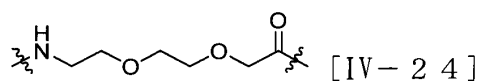
単結合、

A r g、(d)-A r g、

20 L y s、(d)-L y s、

γ -G l u、又は

下記式 [IV-24]



25 で表される基

を示し、

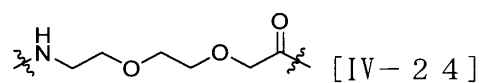
$A A^{N4}$ は、

単結合、

A r g、(d)-A r g、

30 L y s、(d)-L y s、又は

下記式 [IV-24]



で表される基

を示し、

5 AA^{N^3} は、

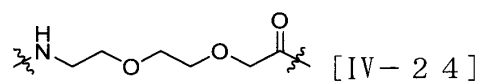
単結合、

Arg、(d)-Arg、

Lys、(d)-Lys、

γ -Glu、又は

10 下記式 [IV-24]



で表される基

を示し、

15 AA^{N^2} は、

単結合、又は

(d)-Lys

を示し、

AA^{N^1} は、

20 単結合、又は

(d)-Lys

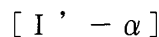
を示し、

また、 L^1 が Glu で表される場合であって、かつ、 AA^3 が Lys で表

25 される場合、

前記式 [I'] で表される化合物は、下記式 [I'- α] で表される通り、

当該2つのアミノ酸の側鎖の官能基とそれぞれ結合している L^3 と一緒になっ
て環状構造を形成することができ、



35 C₁₋₆ アルキル（該C₁₋₆ アルキルは、1個のヒドロキシで置換されてもよい。）、ハロC₁₋₆ アルキル、
C₁₋₆ アルコキシ（該C₁₋₆ アルコキシは、1個のヒドロキシで置換さ

- れてもよい。)、ハロC₁₋₆ アルコキシ、
 C₁₋₆ アルキルカルボニル、
 C₁₋₆ アルキルカルボニルアミノ、
 モノC₁₋₆ アルキルアミノカルボニル、ジC₁₋₆ アルキルアミノカルボ
 5 ニル
 (該モノC₁₋₆ アルキルアミノカルボニル及びジC₁₋₆ アルキルアミノ
 カルボニル中のアルキルは、ヒドロキシ、カルボキシ、カルバモイル、及
 びアミノからなる群から選ばれる1個の基で置換されてもよい。)、
 C₁₋₆ アルキルスルホニル、又は
 10 アリール
 を示し、
- W^c は、単結合又は1~3個のアミノ酸からなるリンカーであって、
 ここで、該リンカーを形成する1~3個のアミノ酸は、
 15 Gly、
 Pro、
 Arg、(d)-Arg、
 Lys、(d)-Lys、
 β-Ala、GABA、及びApe
 20 からなる群からそれぞれ同一に又は異なって選ばれ、
 ここで、W^cで表される基にLys又は(d)-Lysが含まれている場合、
 該Lys及び(d)-Lysの側鎖のアミノは、末端がカルボキシで置換さ
 れているC₂₋₁₆アルキルカルボニル、Lys (該Lysの側鎖のアミノは、
 末端がカルボキシで置換されているC₂₋₁₆アルキルカルボニルで置換されて
 25 もよい。)、又は
 (d)-Lys (該(d)-Lysの側鎖のアミノは、末端がカルボキシで置
 換されているC₂₋₁₆アルキルカルボニルで置換されてもよい。)で
 置換されてもよく、
- 30 R^c は、式-OH、式-NH₂、
 C₁₋₆ アルキルアミノ (該C₁₋₆ アルキルアミノのC₁₋₆ アルキルは、
 ヒドロキシ、アミノ、C₁₋₆ アルキコキシ、及び1個の窒素原子を含み、さ
 らに1個のヘテロ原子を含んでもよい4から7員の飽和のヘテロシクリルか
 らなる群から選ばれる1個の基で置換されてもよい。)、又は
 35 1個の窒素原子を含み、さらに1個のヘテロ原子を含んでもよい4から7員
 の飽和のヘテロシクリル (該1個の窒素原子を含み、さらに1個のヘテロ原
 子を含んでもよい4から7員の飽和のヘテロシクリルは、ヒドロキシ、アミ
 ノ、及びC₁₋₆ アルキル (該C₁₋₆ アルキルは、1個のカルバモイルで置
 換されてもよい。)) からなる群から選ばれる1個の基で置換されてもよく、

そして、該1個の窒素原子を含み、さらに1個のヘテロ原子を含んでもよい4から7員の飽和のヘテロシクリルの中の2個の炭素原子は、 C_{1-4} アルカンジイルで架橋されてもよい。)である。)

5 で表される、置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

[請求項2]

W^C が、

単結合、

10 Pro、

Arg、(d)-Arg、

Lys、(d)-Lys、

β -Ala、GABA、Ape、

15 Gly-(d)-Lys、Gly-(d)-Lys-(d)-Lys、Gly-(d)-Lys-(d)-Arg、Gly-(d)-Arg-(d)-Lys、

Lys-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys-(d)-Lys、

Arg-Arg、(d)-Arg-(d)-Arg、(d)-Arg-(d)-Lys、

20 Lys-(d)-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys-Lys、

β -Ala-(d)-Lys、 β -Ala-(d)-Lys-(d)-Arg、

β -Ala-(d)-Arg-(d)-Lys、又は β -Ala-(d)-Arg-(d)-Arg

25 であって、

ここで、 W^C で表される基にLysが含まれている場合、

該Lysの側鎖のアミノは、末端がカルボキシで置換されている C_{2-16} アルキルカルボニル又は

30 (d)-Lys (該(d)-Lysの側鎖のアミノは、末端がカルボキシで置換されている C_{2-16} アルキルカルボニルで置換されてもよい。)で

置換されてもよい、

請求項1に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

35 [請求項3]

環Aが、ベンゼン環、チオフェン環、又はピリジン環であり、

R^{A1} 、 R^{A2} が、独立して、

水素原子、又は

40 ハロゲン原子

であり、

環Bが、
フェニル、オキサゾリル、チアジアゾリル、ピリジル、又はベンゾフラニル
であり、

5

R^{B1} 、 R^{B2} 、 R^{B3} が、独立して、

水素原子、
カルバモイル、
シアノ、

10

ハロゲン原子、

C_{1-6} アルキル (該 C_{1-6} アルキルは、1 個のヒドロキシで置換されて
もよい。)、ハロ C_{1-6} アルキル、

C_{1-6} アルコキシ (該 C_{1-6} アルコキシは、1 個のヒドロキシで置換さ
れてもよい。)、ハロ C_{1-6} アルコキシ、

15

C_{1-6} アルキルカルボニル、

モノ C_{1-6} アルキルアミノカルボニル、ジ C_{1-6} アルキルアミノカルボ
ニル

(該モノ C_{1-6} アルキルアミノカルボニル及びジ C_{1-6} アルキルアミノ
カルボニル中のアルキルは、ヒドロキシ、カルボキシ、カルバモイル、及

20

びアミノからなる群から選ばれる 1 個の基で置換されてもよい。)、又は
 C_{1-6} アルキルスルホニル

であり、

R^C が、式 $-OH$ 、式 $-NH_2$ 、

25

C_{1-6} アルキルアミノ (該 C_{1-6} アルキルアミノの C_{1-6} アルキルは、
ヒドロキシ、アミノ、 C_{1-6} アルキコキシ、及びモルホリニルからなる群か
ら選ばれる 1 個の基で置換されてもよい。)、

アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、モルホリニル、又はピペラジ
ニル (該アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、モルホリニル、及び

30

ピペラジニルは、ヒドロキシ、アミノ、及び C_{1-6} アルキル (該 C_{1-6} ア
ルキルは、1 個のカルバモイルで置換されてもよい。) からなる群から選ば
れる 1 個の基で置換されてもよく、

そして、該アゼチジニル、ピロリジニル、ピペリジニル、モルホリニル、及
びピペラジニルの中の 2 個の炭素原子は、 C_{1-4} アルカンジイルで架橋され

35

てもよい。) である、

請求項 1 又は 2 に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許
容される塩。

[請求項 4]

40

前記式 $[I']$ で表される、置換されているポリペプチドにおいて、

環Aが、ベンゼン環であり、

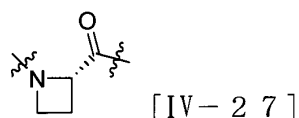
環Bが、フェニルであり、

L¹” が、

単結合、

Gly、(N-Me) Gly、

- 5 Ala、(N-Me) Ala、(d)-Ala、Val、(N-Me) Val、
(N-Me) Leu、(N-Me) Ile、
下記式 [IV-27]



- 10 で表される基、

Pro、(d)-Pro、homopro、Phe、(N-Me) Phe、(d)-Phe、

His、(d)-His、Trp、(N-Me) Trp、(d)-Trp、

Tyr、(N-Me) Tyr、(d)-Tyr、

- 15 (d)-Ser、homoser、Thr、(N-Me) Thr、(d)-Thr、

Cys、(d)-Cys、Met、(N-Me) Met、

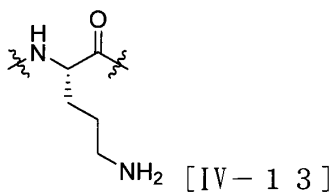
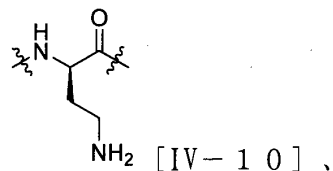
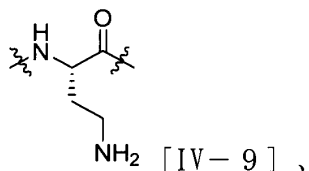
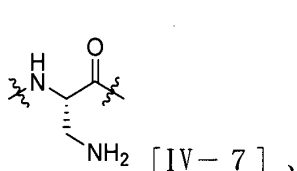
(N-Me) Asp、Glu、(N-Me) Glu、(d)-Glu、

Asn、(N-Me) Asn、(d)-Asn、Gln、(N-Me) Gln、

- 20 n、(d)-Gln、

Arg、(N-Me) Arg、(d)-Arg、Cit、(d)-Cit、

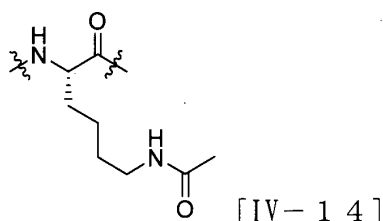
下記式 [IV-7]、[IV-9]、[IV-10]、[IV-13]



- 25

で表される基、

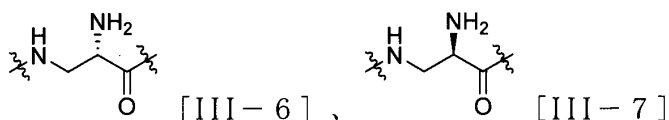
Lys、(N-Me) Lys、(d)-Lys、下記式 [IV-14]



で表される基、

β -Ala、

5 β -Asp、 β -(d)-Asp、
下記式 [III-6] 及び [III-7]



で表される基からなる群から選択される一つの基

10 であり、

W^C が、

単結合、

Pro、

Arg、(d)-Arg、

15 Lys、(d)-Lys、

β -Ala、GABA、Ape、

Gly-(d)-Lys、Gly-(d)-Lys-(d)-Lys、Gly-(d)-Lys-(d)-Arg、Gly-(d)-Arg-(d)-Lys、

Lys-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys-(d)-Lys、

20 Arg-Arg、(d)-Arg-(d)-Arg、(d)-Arg-(d)-Lys、

Lys-(d)-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-Lys-(d)-Lys、(d)-Lys-(d)-Lys-Lys、

25 β -Ala-(d)-Lys、 β -Ala-(d)-Lys-(d)-Arg、

β -Ala-(d)-Arg-(d)-Lys、又は β -Ala-(d)-Arg-(d)-Arg

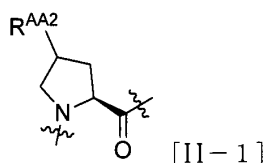
である、請求項1～3のいずれか1項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

30

[請求項5]

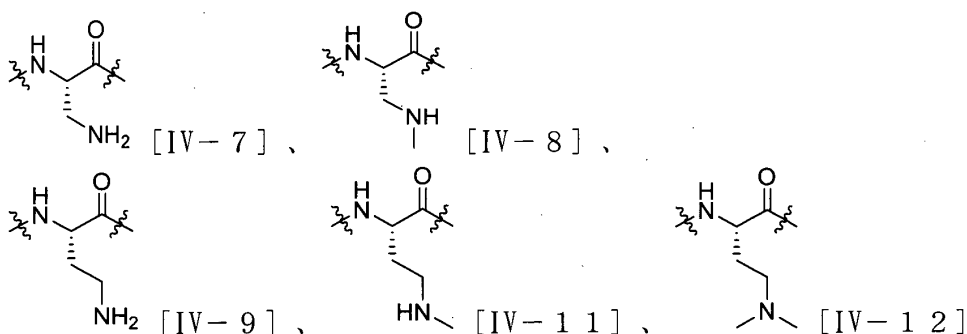
前記式 [I'] で表される、置換されているポリペプチドにおいて、

AA^2 が、下記式 [II-1]



で表される基、

- 5 下記式 [IV-7]、[IV-8]、[IV-9]、[IV-11]、及び [IV-12]



で表される基からなる群から選択される一つの基であり、

- 10 ここで、 R^{AA2} は、アミノであり、

AA^3 が、Val、Leu、Ile、Phe、又はTrpであり、

- 15 AA^4 が、(N-Me)Val、(N-Me)Leu、(N-Me)Ile、(N-Me)Asp、又は(N-Me)Gluであり、

AA^5 が、 β -Ala、GABA、Ape、Acp、Pro、(d)-Pro、又は β -homoproであり、

- 20 W^C が、単結合、Arg、(d)-Arg、Lys、又は(d)-Lysであり、

R^C が、式-OH又は式-NH₂

- 25 である、請求項1～4のいずれか1項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

[請求項6]

前記式 [I'] で表される、置換されているポリペプチドにおいて、

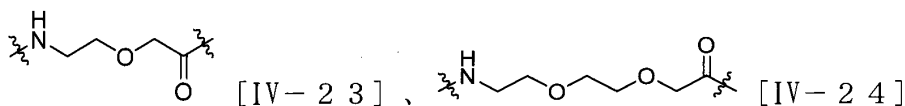
- 30 W^1 が、 $-L^1$ 、 $-L^1$ -であり、

L^2 が、単結合であり、

AA¹ が、Aspであり、

L^{1'} が、β-Ala、GABA、Ape、Acp、下記式 [IV-23] 及び [IV-24]

5



で表される基からなる群から選択される一つの基であり、

10 L^{1''} が、単結合、Asn、(d)-Ser、(d)-Thr、又はGluであり、

L^{N1} が、式-C(=O)-又は式-S(=O)₂-であり、

15 L^{N2} が、式-O-又は式-C(=O)-NH-であり、

R^{A1}、R^{A2} が、それぞれ、水素原子であり、

R^{B1}、R^{B2}、R^{B3} が、独立して、水素原子、カルバモイル、ハロゲン原子、C₁₋₆ アルコキシ、又はハロC₁₋₆ アルコキシ

20 である、請求項1～5のいずれか1項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

[請求項7]

前記式 [I'] で表される、置換されているポリペプチドにおいて、

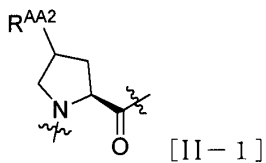
25 W¹ が、-L¹-であって、ここで、L¹ は、単結合であり、

L² が、単結合であり、

AA¹ が、β-Asp、β-(d)-Asp、γ-Glu、又はγ-(d)-Gluであり、

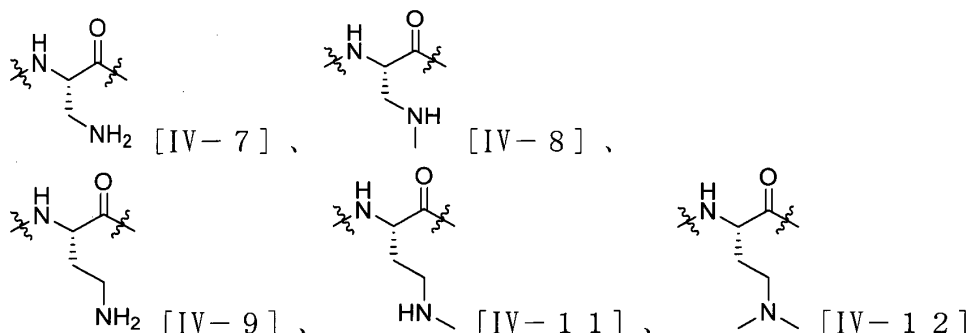
30

AA² が、下記式 [II-1]



で表される基、

35 下記式 [IV-7]、[IV-8]、[IV-9]、[IV-11]、及び [IV-12]



で表される基からなる群から選択される一個の基であり、

5 ここで、 $R^{A A^2}$ は、アミノであり、

AA^3 が、Val、Leu、Ile、Phe、又はTrpであり、

10 AA^4 が、(N-Me)Val、(N-Me)Leu、(N-Me)Ile、(N-Me)Asp、又は(N-Me)Gluであり、

AA^5 が、 β -Ala、GABA、Ape、Acp、又は β -homoProであり、

15 L^{N1} が、式 $-C(=O)-$ 又は式 $-S(=O)_2-$ であり、

L^{N2} が、単結合、式 $-O-$ 又は式 $-C(=O)-NH-$ であり、

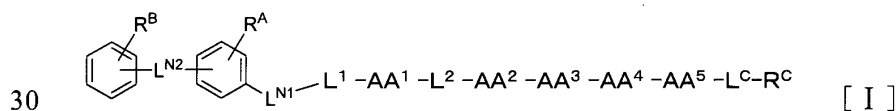
R^{A1} 、 R^{A2} が、それぞれ、水素原子であり、

20 R^{B1} 、 R^{B2} 、 R^{B3} が、独立して、水素原子、カルバモイル、ハロゲン原子、 C_{1-6} アルコキシ、又はハロ C_{1-6} アルコキシ

である、請求項1～5のいずれか1項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

25 [請求項8]

前記式 [I'] で表される、置換されているポリペプチドが
下記式 [I]

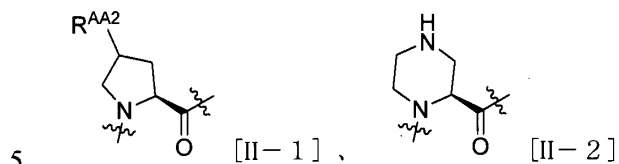


で表される、置換されているポリペプチドであって、

上記式 [I] 中、

AA¹ は、 β -A s p、 γ -G l u、又は γ -(d)-G l u であり、

AA² は、下記式 [II-1] 又は式 [II-2]



で表される基
であり、

ここで、R^{AA2} は、ヒドロキシ又はアミノであり、

AA³ は、Val、Leu、Ile、Phe、又はTrpであり、

10 AA⁴ は、単結合、Pro、(N-Me)Ala、(N-Me)Val、(N-Me)Leu、(N-Me)Ile、(N-Me)Phe、(N-Me)Tyr、(N-Me)Ser、(N-Me)Asp、又は(N-Me)Gluであり、

AA⁵ は、単結合、Pro、(d)-Pro、 β -homoPro、Arg、(d)-Arg、Lys、(d)-Lys、 β -Ala、GABA、Ape、又は

15 Ac pであり、

L¹ は、単結合であり、

L² は、単結合であり、

L^{N1} は、式-C(=O)-又は式-S(=O)₂-であり、

20 L^{N2} は、単結合、C₁₋₃ アルカンジイル、式-O-、又は式-C(=O)-NH-であり、

R^A は、水素原子、ハロゲン原子、C₁₋₆ アルキル、又はC₁₋₆ アルコキシであり、

R^B は、水素原子、カルバモイル、ハロゲン原子、C₁₋₆ アルキル、又はC₁₋₆ アルコキシであり、

25 L^C は、単結合、Pro、Arg、(d)-Arg、Lys、(d)-Lys、又は(d)-Lys-(d)-Lysであり、

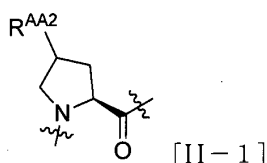
R^C は、式-OH又は式-NH₂

30 である、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩。

[請求項 9]

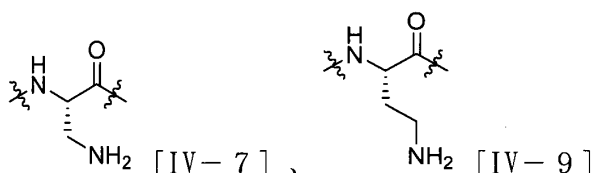
前記式 [I'] で表される、置換されているポリペプチドにおいて、

35 AA¹ が、A s p、 β -(d)-A s p、又は γ -(d)-G l u であり、
AA² が、下記式 [II-1]



で表される基、
下記式 [IV-7] 及び [IV-9]

5



で表される基からなる群から選択される一個の基
であり、

ここで、 R^{AA2} は、アミノであり、

- 10 AA^3 が、Val、Leu、又はIleであり、
 AA^4 が、(N-Me)Ile又は(N-Me)Gluであり、
 AA^5 が、Ape又は β -homoProであり、

W^1 が、 $-L^1-$ 又は $-L^{1'}-L^{1''}-$ であり、

- 15 ここで、
 L^1 は、単結合であり、
 $L^{1'}$ は、GABA又はApeであり、
 $L^{1''}$ は、Asn、(d)-Ser、(d)-Thr、又はGluであり、

- 20 L^{N1} が、式 $-C(=O)-$ 又は式 $-S(=O)_2-$ であり、
 L^{N2} が、式 $-O-$ 又は式 $-C(=O)-NH-$ であり、

R^{A1} 、 R^{A2} が、それぞれ、水素原子であり、

- 25 R^{B1} 、 R^{B2} 、 R^{B3} が、独立して、水素原子、カルバモイル、ハロゲン原子、 C_{1-6} アルコキシ、又はハロ C_{1-6} アルコキシであり、

W^C が、単結合又は(d)-Lysであり、

R^C が、式 $-NH_2$

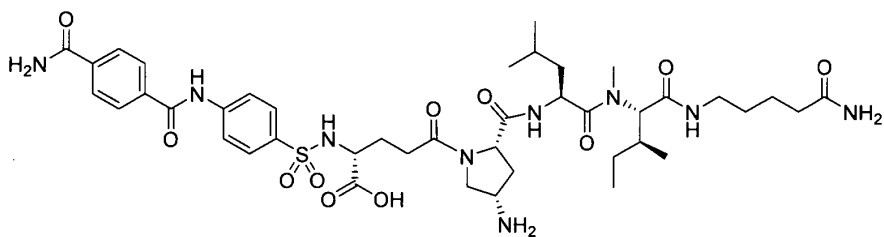
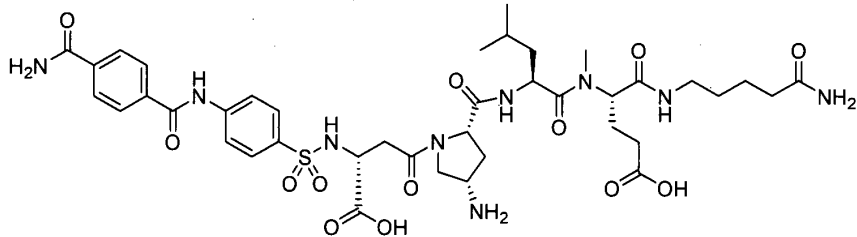
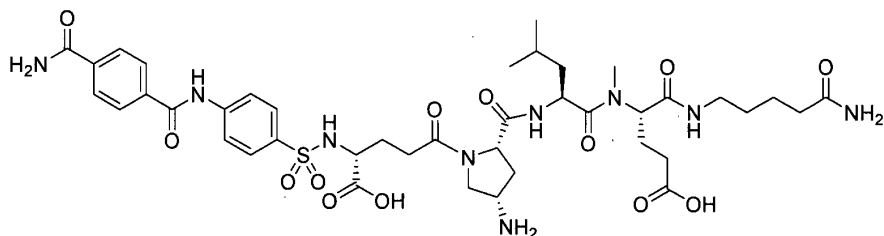
30

である、請求項1～5のいずれか1項に記載の置換されているポリペプチド
又はその製薬学的に許容される塩。

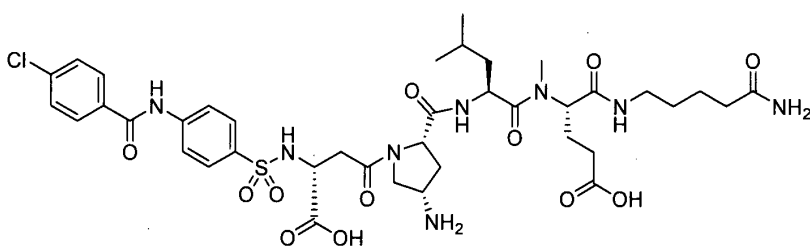
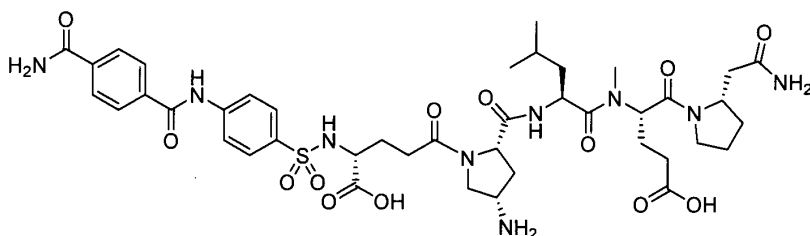
[請求項10]

- 35 請求項1～5のいずれか1項に記載の、以下に示す化合物から選択される

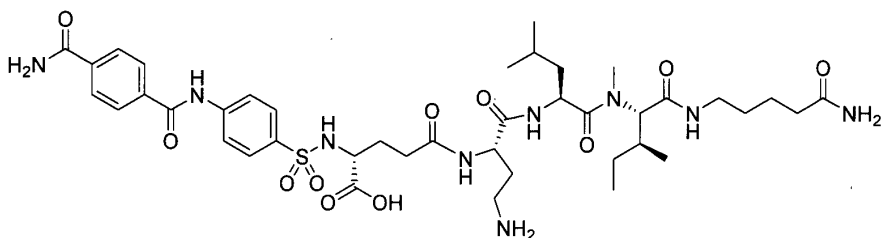
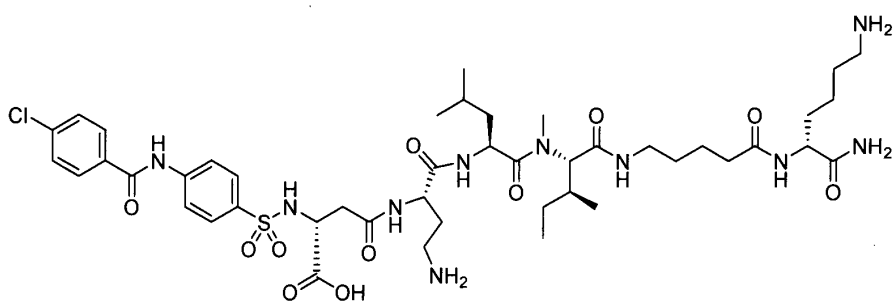
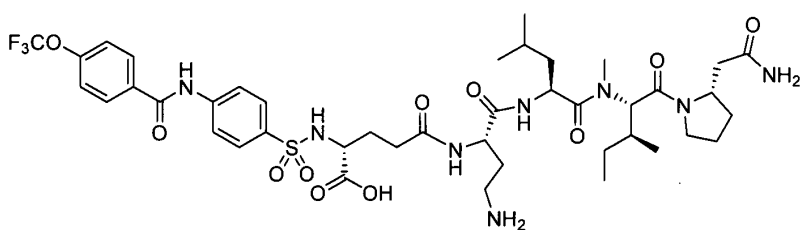
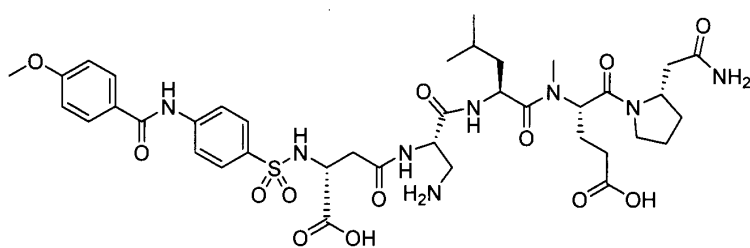
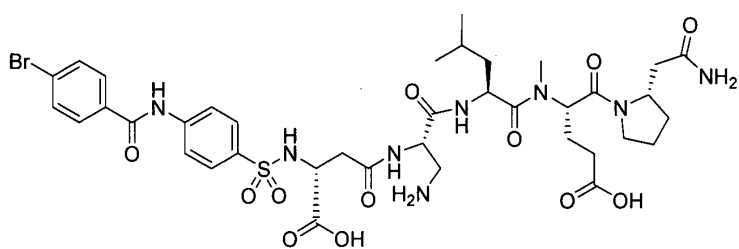
置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩：



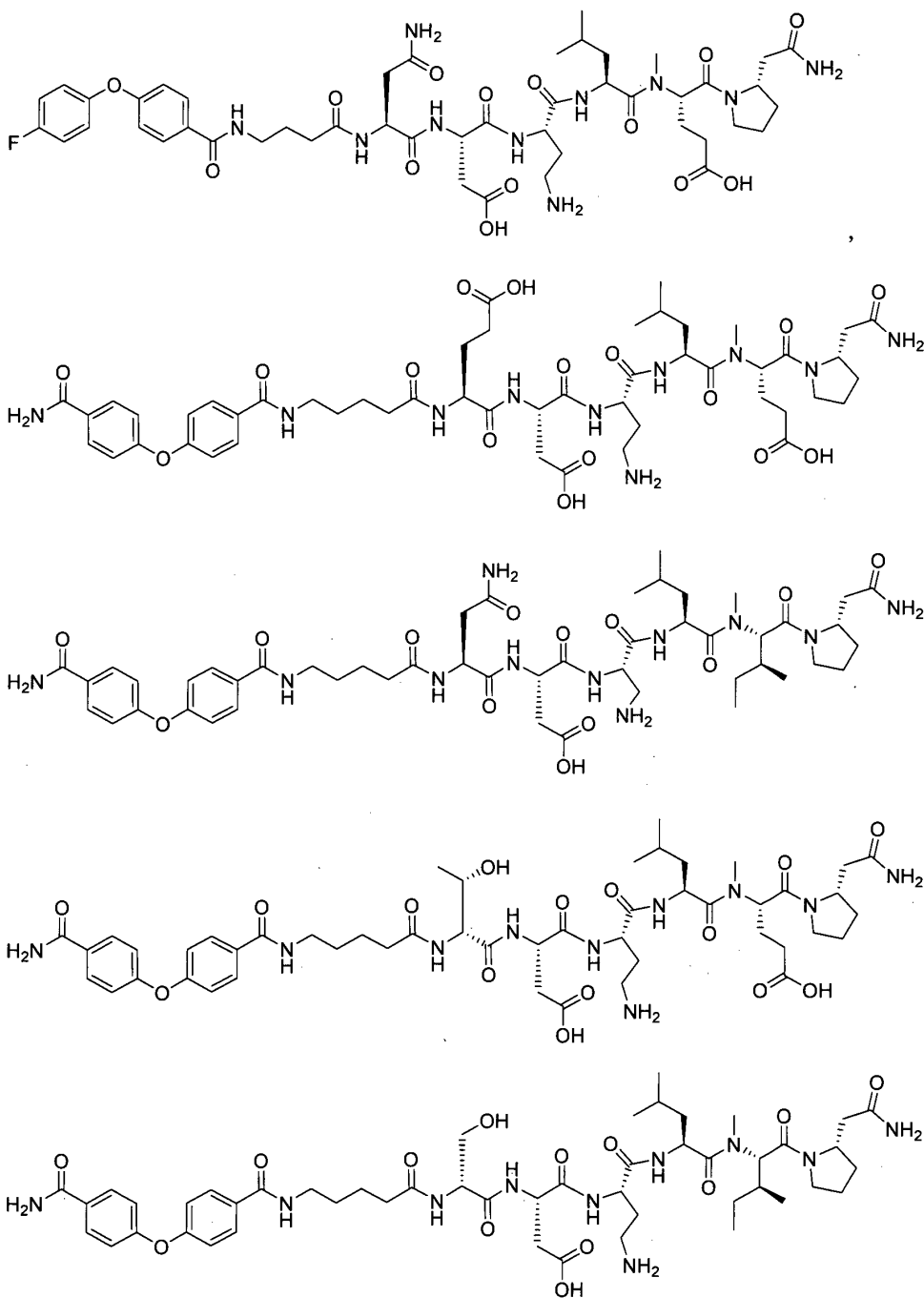
5



254



255



5

[請求項 1 1]

請求項 1 ～ 1 0 のいずれか 1 項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩を有効成分として含有する医薬。

10 [請求項 1 2]

請求項 1 ～ 1 0 のいずれか 1 項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩を有効成分として含有する MMP 2 阻害剤。

[請求項 1 3]

- 5 請求項 1 ～ 1 0 のいずれか 1 項に記載の置換されているポリペプチド又はその製薬学的に許容される塩を有効成分として含有する癌疾患若しくは臓器線維症、又は癌疾患若しくは臓器線維症に関連する症状の予防薬又は治療薬。